

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1）しっかりした生活習慣を身に付けよう（生活する力） 2）友達の心を受け取ろう（人とかかわる力） 3）いっぱい遊ぼう。好きな遊びをとことんやってみよう（興味の力） 4）自然の力を感じよう（感じる力） 5）自分を伝えよう（表現する力）
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	・ 幼い子どもたちと直接かかわる保育者としての人間性を念頭におき、日々の保育に努めていきたい。 ・ 子どもと一緒にいることで自分自身も成長していける保育者でありたい。 ・ 保護者が安心して子どもを預けられるように、接遇は勿論、保護者の方の気持ちに寄り添えるように傾聴する姿勢をもちたい。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	・ 子ども一人ひとりの最善の利益を尊重し、各年齢の発達を理解して状況に応じた適切な援助、保育が出来るような職員。 ・ 快適な環境設定を確保できるように創意工夫が出来る職員。 ・ 子どもの個性を認め、個別対応ができる職員。 ・ 法令順守に努める職員。 ・ 保護者対応能力を高めようとする職員。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	10月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。在園児は19名で、兄弟姉妹の居る世帯は1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	アンケート調査は無記名方式、配付は事業所を通じて保護者へ手渡し、回収は密封して園に設置した回収箱に投函してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
利用者総数			19
利用者家族総数（世帯）			19
共通評価項目による調査対象者数			19
共通評価項目による調査の有効回答者数			19
利用者総数に対する回答者割合（％）			100.0

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」11名、「満足」7名、「無回答」1名であり、利用者の95%の方が高い満足を得ている。毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「園における食事・おやつ」、「自然や社会と関わる機会」、「職員との信頼関係」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、「職員の接遇・態度」、「病気やけがをした際の職員の対応」、および利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「プライバシーへの配慮」、「保育内容に関する説明」でそれぞれ95～100%と高い満足度がうかがえます。自由意見では、「子どもを第一に考え、愛情ある保育をしていただき大変感謝しています」、「毎日あたたく迎えていただき、必ず起きたことを報告してくださいます」、「相談にもよくのっけていただいています」、「家庭的で小規模保育園ならではの良さがあり、この園に入園できて良かったです」など園に対する感謝の声が寄せられています。一方、保護者が参加できる行事があったらよいという意見もありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	18	1	0	0
95%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「言葉が少しづつでてきて、歌やダンスが大好きです」、友達とのかかわり方や小さい子への関心・お世話等、自宅ではできないことをして学んでいると思うときがあります」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	17	2	0	0
89%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「楽しく通っています。作品も喜んで見せてくれます」、「制作で、絵の具やのりをつかったらしく、家でもやりたいと興味をもっています」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	19	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「ほとんど全部食べているようなので、美味しいのだと思います」、「お腹の調子が良くない時は、牛乳を止めてくれたり、アレルギーの食べ物も気を付けてくれます」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	19	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「公園で楽しく遊んでいます」、「近所の八百屋さんといさつしたり、季節の草花を覚えて教えてくれたりします」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	11	2	0	6
58%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「あまり変更はありませんが、あたたかい対応をしてくれます」、などの声がありました。一方で、「特に嫌な感じもなく接しています。子どもにもさみしくならない様に対応しています」という声もありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	16	2	1	0
84%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「避難訓練等、普段の保育の中での対策はしっかりやってくれているので安心してはいますが、いつもと違う時間に行ってもドアの施錠が開いているのは少し気になる」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	14	3	0	2
74%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「前もってわかりやすく知らせてくれます」、「無理のない日程になっていると思います」との声があった。一方、「保護者が参加できる行事があまりないので、もう少しあったら嬉しい」、「病欠以外の休みは取りづらいので、日程についてもう少し考えてほしい」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	18	1	0	0
95%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「園長が直接話しかけてくれたり、子どもの受け渡し時に、調子を聞いてくれたり、様子を話してくれます。連絡帳でも細かくやり取りしています」、「連絡帳で相談すると、帰りの迎えの時に一緒に考えてくれたり、アドバイスをもらえたりして、とても助かっています」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	18	1	0	0
95%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「片付いています」、「帰るとき、トイレを借りた際、掃除をしている姿を何度か見た。毎日きれいにしているのだと思いました」、「園内の玄関までしか毎日みているのでわかりません」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	19	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「やさしい言葉遣いで接して下さいます」などの声がありました。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	18	1	0	0
95%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「少しでも異変があれば連絡いただけます」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	11	3	0	5
58%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「子どものことをよく見て対応してくれていると思います」、「子どもが小さくそのようなことがないのでわかりません」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	18	1	0	0
95%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「毎日あたたかく迎えてくれます」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	19	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「送迎時、他の保護者がいることを配慮して言葉を選んでいると思います」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	18	1	0	0
95%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「わかりやすく、簡潔にまとめられていると思います」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	14	3	0	2
74%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「特に不満はありません」、「まだそのような場面はありません」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	12	2	1	4
74%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「わかりやすかったです」などの声がありました。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ１		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ１（１－１）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7 / 7
	評価項目 1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3		
	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ１の講評		
	設置法人の保育方針にリンクされた園独自の理念・目標を設定し関係者に周知しています		
	設置法人の方針である「安心して任せられる育児のパートナーとして、信頼される保育の専門機関として、家庭と子どもの生活をあらゆる面から支援サポートする社会の財産になりたい」を受けて、園の理念には「子供を安心して任せて頂き、信頼される保育の専門的機関として、働く保護者の生活をあらゆる面からサポートする」を掲げています。そして園の全体計画を理解した上で職員会議や園内研修で意見を吸い上げ、足立区の保育の在り方などについて周知しています。また入園のしおりでは、「園長のメッセージ」で独自性のある取り組みをしています。		
	園の保育行動指針に基づき保育の質向上に向けたリーダーシップを園長は発揮しています		
	中長期計画の位置づけとし職員が取り組むべき小規模保育室の保育行動指針である「園内環境の雰囲気作り」「保育者の思いや状況の受信」「リーダーの役割」「園長の役割」などが盛り込まれており、職員会議・全体会議にて話し合い		

	が行われています。重要ポイントとして、保育の質向上のためには保育を側面から支えるサーバントリーダーシップが求められ、また園長は職員一人ひとりがどのような保育をしているかを把握することが基本であり保育の質向上には不可欠であると職員へ周知しており、リーダーシップを発揮しています。																							
	<u>重要案件は設置法人の園長会で決定し、職員や関係者へ周知しています</u> 重要案件は設置法人の園長会で検討し各事業所の職員会議にて周知しています。例えば食事については設置法人の管理栄養士が献立業者へ委託・管理するなど、食事提供のプロセスは適切に運営されています。又事業所の報告について、保育園園長会などについて園長が報告するなど仕組みが構築されています。利用者等に対しては「入園のしおり」「重要事項説明書」等で保育の基本理念、目指す子ども像、保育の目標等で「子どもが今を最もよく生き、望ましい未来を創り出す基礎を培うために」などを記載し、周知しています。																							
2	カテゴリー 2																							
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行																							
	サブカテゴリー 1 (2 - 1)																							
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6																					
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当		
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																						
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																						
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当																						
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当																						
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当																						
	サブカテゴリー 2 (2 - 2)																							
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5																					
	評価項目 1 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○○)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当											
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当																						
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当																						
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら	○非該当														
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当																						
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら	○非該当																						

	取り組んでいる																																						
	カテゴリー 2 の講評 研修などを活用して、職員の意向の把握に繋がられるような取り組みに期待します 日々の保育にて子どもの様子や保護者の様子などを見聞きし、そして毎年6月には保護者向けにアンケートも実施しており、個人面談も行い、情報の収集に努めています。職員の意向の把握については、本音を聞くために主任に任せているが、そのフィードバックについては今後の課題であり、職員の研修などへと繋げていけるような取り組みに期待します。 地域会議へ参加し情報収集を図り、小規模保育所の認知度向上への努力をしています 足立区からの情報提供や「足立子ども支援センター」での地域会議などへ参加し情報の収集をして職員会議で周知しています。また近隣保育園とのコミュニケーション形成においては足立区へ提案しており連携を深めていく方向にて話し合われています。課題は小規模保育所の認知度を向上させるための各保育所との連携で今後深めていきたいと意欲を示しています。子どもの特性、個性、家庭環境を理解した上でありのままを受け入れながらも成長発達に繋がる保育にしたい方向で努力している姿が伺えます。 子ども一人ひとりの発達に応じた職員の指導育成への方向性が策定されています 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向であり、人的資源については職員の指導育成に取り組み、保護者支援体制の構築は園より、園長からのメッセージ、個人面談、子ども一人ひとりの発達に即した保育・配慮を要する支援、人権擁護の取り組みがあげられています。設備・環境面では、快適な施設環境の確保、健康管理・衛生マニュアルに沿った保育、天気の良い日のお散歩や室内の遊びの環境などに力を入れて取り組んでいます。																																						
3	カテゴリー 3 経営における社会的責任 サブカテゴリー 1 (3 - 1) <table border="1"> <tr> <td>社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる</td> <td>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況</td> <td>2 / 2</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。</td> <td>○非該当</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> サブカテゴリー 2 (3 - 2) <table border="1"> <tr> <td>利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている</td> <td>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況</td> <td>4 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 評価項目 1 利用者の意向 (意見・要望・苦情) を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td> <td>○非該当</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 評価項目 2 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	2 / 2	評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。</td> <td>○非該当</td> </tr> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当	サブカテゴリー 2 (3 - 2) <table border="1"> <tr> <td>利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている</td> <td>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況</td> <td>4 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 評価項目 1 利用者の意向 (意見・要望・苦情) を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td> <td>○非該当</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 評価項目 2 </td> </tr> </table>			利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4	評価項目 1 利用者の意向 (意見・要望・苦情) を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td> <td>○非該当</td> </tr> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	●あり ○なし	2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当	評価項目 2		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	2 / 2																																					
評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。</td> <td>○非該当</td> </tr> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当																												
評価	標準項目																																						
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当																																					
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理 (個人の尊厳を含む) などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当																																					
サブカテゴリー 2 (3 - 2) <table border="1"> <tr> <td>利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている</td> <td>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況</td> <td>4 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 評価項目 1 利用者の意向 (意見・要望・苦情) を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td> <td>○非該当</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 評価項目 2 </td> </tr> </table>			利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4	評価項目 1 利用者の意向 (意見・要望・苦情) を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td> <td>○非該当</td> </tr> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	●あり ○なし	2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当	評価項目 2																					
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4																																					
評価項目 1 利用者の意向 (意見・要望・苦情) を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td> <td>○非該当</td> </tr> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	●あり ○なし	2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当																												
評価	標準項目																																						
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当																																					
●あり ○なし	2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当																																					
評価項目 2																																							

虐待に対し組織的な防振対策と対応している		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3 - 3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1		
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2		
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク (事業者連絡会、施設長会など) に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
<u>保育行動指針を定め、法令遵守などの研修を積極的に行っています</u> 児童福祉法・児童の権利に関する条約・保育所保育指針・児童憲章などを踏まえて、全ての子どもの権利を積極的に増進するための基本理念を定めています。そして星風会小規模保育室保育行動指針には「職場内研修を充実させ、園長がリーダーシップをとりながら保育の向上に努めます」と定め、法令遵守を始め、児童の虐待予防管理、苦情対応などの研修を行っています。「乳幼児の子どもの人権を守り・育む」などの園内研修も行っており評価できる。		
<u>苦情解決制度や虐待予防管理などを制定し利用者へお知らせしています</u> 保護者には苦情解決制度を利用できることを重要事項に定め説明を行っています。そして児童の虐待予防管理を定め、家族と連携をとり子育て相談の実施・広報誌の発行・お便りの配布なども行い家族とのコミュニケーションを図っています。職員には「人権教育プログラム」を策定し自ら学ぶ力の育成として「カー杯とりくもう、何でもやってみよう」をキーワードに「乳幼児の子どもの人権を守り育む」などの研修を行っています。自己・他者・生命への尊厳、言う力と聞く力を持つことの課題に取り組む事で人権尊重の心を育てる教育を今年度から行っています。		
<u>透明性を高めるため地域と情報の共有を図っています</u> 透明性を高めるために園だより、お知らせ・行事案内などを配布しており、お散歩のときには近隣の方々とのおふれあいをもっています。地域の福祉ニーズについては、一時保育や子育て相談の張り紙もするなど小規模保育所の特徴を生かした積極的な情報提供を行い、ネットワーク会議へも参加し、子どもの実態調査、保育園の役割、民生委員、子育てNPOとの情報共有を行っています。又近隣の方々による安全に関する情報提供、不審者情報などの必要な情報も共有し保護者へもフィードバックしており、信頼関係が構築されています。		
4	カテゴリー 4	

リスクマネジメント		
サブカテゴリー 1 (4 - 1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 5
評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○○○○●)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク (事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など) を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画 (BCP) を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー 2 (4 - 2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員 (実習生やボランティアを含む) が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<u>深刻なケースに備えた事業継続計画 (BCP) の策定を期待します</u> 「事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」や各種マニュアルが整備され、必要なリスクマネジメントの対策を講じる仕組みがあります。危機管理マニュアルには、地震発生時の対応、火災、その他の自然災害、感染症等について詳細に策定され、定期的な防災訓練等行っています。しかし深刻なケースに備えた事業継続計画 (BCP) は策定されておらず、初動対応、重要業務、応急対応、復旧対応など、子どもと保護者に安定的なサービス提供をするために、事業継続計画 (BCP) の策定されることを期待します。		
<u>文書管理の規程に基づき管理を行い、電子情報の管理含め適切な利用に努めています</u> 収集した電子情報の管理は、設置法人本部のシステム課が年に一度パスワードを更新するなど、情報漏洩防止のための対策を行っています。また足立区の文書管理に準じ「保育園文書 (保存年限) 」として、運営・基本方針・就業規則・保育状況・災害対策・食事の提供や各種マニュアルなどが作成されており、職員が必要な時にいつでも閲覧できるように管理されています。個人情報については重要事項説明書に記載し、入園児、児童名簿と一緒に写真などの掲示の有無のアンケートを行っています。		

5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1 (5 - 1)		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
	評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金・昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている	○非該当	
●あり ○なし	2. 就業状況 (勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど) を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当	
サブカテゴリー 2 (5 - 2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3	

評価項目 1	
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	
評点 (○○○)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる
○非該当	
○非該当	
○非該当	
カテゴリ 5 の講評	
人材育成計画へキャリアパスの導入を試行し、次年度実施を計画しています 職員に求める人材像は、幼い子どもたちと直接関わる保育者としての人間性を念頭におき日々の保育に努める、子どもと一緒にいることで自分自身も成長していける、保護者が安心して子どもが預けられるように接遇・保護者の気持ちに寄り添えるよう傾聴する姿勢を掲げており、今年度はキャリアパス制度の研修計画に基づき研修を実施し、今年度試行運用から次年度へ向けて計画を立案するような検討がなされています。職員へはクラスの年間・月間指導計画の立案から自己評価をし、振り返りまでのPDCAが回る様な仕組みを取り入れるよう指導しています。	
自己評価結果を保育実践の改善のために行い、積極的に保護者へ公開しています 「足立区教育・保育の質ガイドライン」(平成29年9月1日)に基づき、職員へ内外研修を行っており、その研修受講報告書も提出しており、各職員が自己の学習や日々の保育の振り返りをして自己評価をしています。また自己評価結果は、保護者からの評価や園への意見とともに積極的に保護者へ詳細内容を公開しており、評価の観点を設定し、評価基準として達成したか、不足した部分があるかなど分析し、振り返りをして次年度にむけての方向性を示しています。	
本部の人事考課制度のもとに、工夫した独自の働きやすい職場環境作りを目指しています 設置法人の人事考課制度の元に個別に評価を実施しています。休暇や福利厚生については働きやすい職場環境を目指し整備されており、コミュニケーション構築にはお互いの話を傾けることを行動計画に取り入れて働きやすい職場環境作りを目指しています。そして気づいた事を提案し子どもの発達過程を理解しながら保育に取り組み、愛着形成をどう作っていくか日々学んでいることは評価できます。職員には保育者としての人間性を念頭におき、日々の保育に努めてもらいたい、そして自分自身も成長していける保育者でありたいなどの人材像を求めています。	
7	カテゴリ 7
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ 1 (7 - 1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目 1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その 1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ)	
園では、保育の質の向上に取り組む上で一番大切にしている「子どもの権利を守ること」を目標に掲げ、取り組んできました。子どもの人権に焦点をあて園内研修を行い、子どもの権利について職員全体で確認し合いながら日々の保育で配慮することに努め、実践してきました。外国人の受け入れなどを通じては一人ひとりの子どもの生活習慣や文化などの違いを知り、それを認め合う心を育てるよう努めました。子どもの権利を守るため、職員の言動等ルールとしてまとめた職員行動規範を定め、職員が子どもを大切に思い日頃から子どもと心が通い合うような保育に努め、実践しています。それら取り組みにより、子どもの気持ちに答え子ども一人ひとりの存在を認めていく姿勢が出て、それら職員の関わりにより様々な心情、意欲、態度を身につけてきました。保護者に対しては、園だより、クラスだより、連絡帳に園の保育姿勢を記し、継続して発信しています。	

目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
引き続き、子どもの権利を守ることについて園として力を入れて取り組んでいます。一人ひとりの子どものため、園として保護者支援や地域の子育て家庭に対する支援を行うことが重要な役割であること、そして子どもの権利を守るとは園として最重要課題であることを再認識しています。また保護者はじめ地域へ発信していく必要性も感じて、今年度の園の運営計画に取り入れ実践しています。人権プログラムを作成し、園長が中心となり園内研修が定期的に行われています。また今年度1～2か月に一度配付している園長メッセージでも、子どもの権利以外にさまざまな切り口で発信し保護者支援をしています。こうした取り組みなどが保護者の安心感へとつながり、子どもたちの安心できる場所となります。「子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを共感しあうことで保護者自身が子育てに自信を持ち、子育て楽しいと感じることができるような、地域の子育て支援保育園になる」という園の気持ちを忘れずに、引き続き、継続した取り組みが行われることを期待します。	
評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
園では、子どもが自ら興味を持ち、子どもが思わず関わりたくなるような保育環境をさらに整えたいという思いから、「子どもが快適に心地よく生活できる環境を整える」ということを目標に以下取り組んできました。1）子どもの成長に合わせた玩具・遊具・絵本の用意と主体的な遊びを展開できるように配慮していく、2）快適に心地よく生活するため、設備内の清掃とともに子どもたちが使う備品類の消毒すること、3）子どもたちの遊びこむことができる時間と空間の確保、子ども同士のかかわり遊びが豊かに行われるような工夫。小規模保育園として、これらをあらためて園として共有し、様々な玩具や絵本を整備し実践することにより、遊ぶことの楽しさを経験し、子どもたちの興味関心が深まっていると感じている。また限られたスペースの中での取り組みではあるが、子どもたちが遊びこめる時間と空間を確保することで、子ども同士のかかわり合いや一緒に遊ぶことでその空間を楽しんでいると感じています。その他、友だちと協力することの大切さや友だちを思いやる心が育まれているとも感じています。	
目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
引き続き、快適で心地よい生活環境づくりを園として取り組んでいます。園での生活を楽しめる工夫や協同的な活動を取り入れていくための保育環境づくりを整える必要性を再認識し、小規模保育園で限られたスペース・職員数等の中、子どもたちが遊びこめる空間づくりを工夫したりしています。日常の保育を通して子どもの生活や遊びが豊かに展開されるような工夫について、職員自己評価の結果では、職員のほぼ全員ができていると認識しており、取り組みの成果がうかがえます。また利用者調査（保護者アンケート）の結果、園での子どもの活動に関する保護者の満足度は高いものとなっています。今年度は幼児の主体性を育むため、1）興味や関心をもつ、2）願いや期待をもつ、3）試行錯誤をくり返す、ということを指導計画に取り入れ実践しています。職員の子どもたちへの言葉がけがいかに大切か、ポジティブな働きかけが成長発達には欠かせないということを職員は理解し、次の保育に取り組んでいくことを学ぶことができたと感じています。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目 1		
	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点（○○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1		
	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点（○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	ホームページや入園のしおりなどで利用希望者に情報提供しています 法人作成のホームページで保育方針、保育目標、一日の流れ、年間行事・イベント、園の概要等を写真やイラストを用いながらわかりやすく紹介しています。一日の流れや年間行事・イベントの紹介の中では写真を掲載して子どもたちの生き生きとした活動の様子を伝えています。見学者には、「ステラ小規模保育室見学の方へ」、「入園のしおり」とともに本園が大切にしている愛着形成についてまとめた文書を配付し、園で大事にしていることを伝えるとともに、園での1日の生活をイメージしやすいよう説明しています。 利用者希望者の問い合わせや見学希望者には、園長が個別に対応しています 利用希望者からの問い合わせや見学の際は園長が個別に対応し、保育方針・保育目標や利用条件・保育内容について配付資料をもとに説明し、育児相談にも応じています。見学希望の際は、事前に電話で予約をしてもらいますが見学可能な曜日は設けずに常時対応しています。見学希望者の都合に合わせてゆっくり話ができる時間帯、子どもたちの活動の様子を見たい場合など、それぞれの希望に配慮するとともに園の保育が理解されるよう丁寧な説明・対応を心がけています。		

評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点 (〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 の講評		
入園前面接を行い、園の重要事項など丁寧に説明し同意を得ています サービス開始にあたり、保護者との個別面接を実施し30分から1時間かけて「重要事項説明書」に沿って丁寧に説明しています。「重要事項説明書」では、運営方針、保育目標、施設概要、毎日の保育・教育の流れ、年間保育計画、給食・アレルギー対応、健康管理、緊急時対応、非常災害の対策、苦情対応、虐待防止等について丁寧に説明し、保護者の同意のサインを提出してもらっています。園だよりやホームページで子どもの写真を掲載することなどについても、事前に同意書で保護者の同意を得るようにしています。		
利用開始にあたっては、子どもの不安やストレス軽減に配慮しています 入園直後は保護者と連携し子どもの負担軽減に努めています。慣らし保育について丁寧に説明をしてその大切さを理解してもらい、SIDS（乳幼児突然死症候群）防止のためにも余裕を持った慣らし保育が望ましいことを説明しています。5日程度を基本としていますが、保護者の方の勤務状況等を配慮し、時間に余裕がある方は時差受け入れ期間も長めにするなど、個々に対応していくようにしています。家庭で子どもが心理的拠り所になっているぬいぐるみやタオルなどがある場合には、園に持ち込むことで安心して園生活に慣れていけるように配慮しています。		
途中退園や卒園した後も園と交流できるように呼び掛けています 途中退園や卒園した後も園の行事などには気軽に参加してもらえるように呼び掛け、いつまでも卒・退園児と交流が続けられるようにしています。また保護者には、心配事や不安なことなどはないか声かけをして気持ちに寄り添えるようにしています。いつでも育児相談を受けられることを伝え、道で会ったら声をかけたり卒園後の保護者への支援を実施しています。		
3	サブカテゴリー 3	
	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 (〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている

●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直している	○非該当
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評		
<u>子どもの心身状況や生活状況を把握し、記録しています</u> 子どもの心身状況や生活状況は、入園時に保護者に提出してもらう家庭状況書、生活状況書や健康記録（病歴・予防接種の記録やアレルギー）などにより把握しています。また入園後は、連絡帳、保育日誌、児童票などに記載し子どもの日々の成長を記録しています。保育日誌には、生活や遊びの活動内容とともに、子どもの姿や保護者への配慮・反省を個人別に記録して子ども一人ひとりの把握に努めています。保護者のニーズの把握は、日々の送迎時の会話や個人面談、毎日の連絡帳で把握し、勤務状況や保育時間の変更、意向などは児童票に記録しています。		
<u>クラス担任が中心となって年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています</u> 平成30年度保育指針改定にともない、東京都内系列保育園の園長会が中心となって全体的な計画を作成しています。この全体的な計画を踏まえ、園長とともにクラス担任が中心となって年間指導計画、月間指導計画、週案を作成し、日々の保育を実践しています。これら計画は、カリキュラム会議で共有し、日々の子どもの姿や保護者とのやり取りなども考慮し、子どもや家庭環境の変化に応じて、園長やクラス担任とともに見直しを行っています。これら内容は、園長メッセージとして配付するとともに、丁寧に保護者に直接伝えていきます。		
<u>職員会議などで子どもの状況を職員間で共有しています</u> 子ども一人ひとりに関する情報は、児童票に記録し、一人ひとりファイリングしています。保護者とのやり取りで子どもの変化などを把握した場合は、クラス担任が中心となって計画を見直しています。職員会議を月1～2回に行い、クラスの状況、子どもの状況などについて話し合い共有しています。参加できない職員には記録に残した会議録を回覧するとともに園長から直接伝えて伝達漏れがないように努めています。家庭環境等の変化があった場合、児童票にこれら情報含めて記録するとともに、申し送り表にも記録し職員間で共有化しています。		
5	サブカテゴリー 5	
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得	○非該当

		るようになっている	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリー 5 の講評			
個人情報の取り扱いやプライバシーへの配慮に努めています 入園時に「個人情報に関するアンケート」をもとに保護者に説明し、ホームページや園内写真等で掲載する際の同意書をもっています。守秘義務については、職員からは誓約書を提出してもらい、またボランティアや中高生の職業体験など受け入れの際も同様に説明行い対応しています。子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えや着替えの場合は他者からの視線を少ない場所で行う等配慮しています。また子どもへ注意したりする際は、一方的に「やめなさい」など否定する言葉を使用せず、1対1でゆっくりした口調で言葉かけを行うように心がけています。			
乳幼児の子ども一人ひとりを大切に考えた保育実践を行っています 人権マニュアルを作成し、子ども一人ひとりを尊重した保育を行っています。「乳幼児の子どもの人権を守り・育む」をテーマとして、保育所保育指針の振り返りとともに子どもの人権に焦点をあて、「子どもの人権を守るとは」、「子どもの人権をはぐくんでいく力を育てるには」どのようにしたらよいか等園長が中心となり園内研修を継続して行っています。また人権教育プログラムを作成し、それぞれの目標とキーワード、育みたい意欲・態度を記し、子ども一人ひとりを尊重した保育が実践できるよう努めています。			
虐待対応マニュアルが整備され、園内・園外研修を通じて理解を深めています 虐待対応マニュアルが整備されており、発生のポイント、虐待が疑われた場合の対応、チェックシート記載、通報・連絡先など各段階に分かれて記載されています。マニュアルは職員全員に配布され、虐待の定義や対応方法を周知するとともに、虐待に関わる園内研修実施や園外研修に参加することにより理解を深めています。職員は、日々の保育の中で子どもと保護者の様子を観察し、支援が必要と思われる場合には「足立区子ども支援センターげんき」と連携して対応できるようにしています。			
6	サブカテゴリー 6		
事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5	
評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (○○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (○○)			
評価	標準項目		

●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー 6 の講評		
<u>職員にマニュアルを配布し、業務の共通理解と標準化を図っています</u> 0～2歳児の小規模保育園として各種手順・マニュアル（安全保育マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル、健康マニュアル、感染症対策マニュアル、事故防止対応マニュアル、等）が整備され、保育の基本事項や手順などを明確にしています。接遇マニュアルには、身だしなみや挨拶、言葉使い、電話対応、家族対応等についてチェック欄を設けて再確認もできるようになっています。マニュアル類は基本職員全員に配付し、いつでも確認できるように園内保管し、わからないことが起きた時は園長や主任に相談し助言を受けたり、職員同士で再確認しています。		
<u>職員や保護者の意見を参考にして、業務水準の改善や向上に取り組んでいます</u> マニュアルの見直しは、設置法人の園長会にて基本的に1年毎見直し・検討が行われ、改定した内容は職員に周知しています。提供する保育日誌のほか職員会議や日々の保育の中で職員からの意見や提案を把握するとともに、日常の送迎時のやり取りや連絡帳、個別面談などから保護者の意見を把握し、保護者が安心して預けられるかを考慮し、各クラスの環境構成や活動内容など見直しを行っています。マニュアル改訂に関わる内容については、園長会にあげ見直し・検討が行われています。		

III サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

サブカテゴリ-4			
サービスの実施項目		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 3 4 / 3 4	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点 (○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
	評価項目 1 の講評		
	<u>人権について学び、外国籍の子どもが自然に友達の輪に溶け込めるよう寄り添っています</u> 子どもの発達過程や人権について外部の研修に参加し、園でも話し合いや研修会が活発に開催されており、乳幼児という重要な発達過程の中で、一人ひとりの発達課題を個人記録や生活形成計画に基づいて見通しを持ちながら愛着形成ができる保育に努めています。0歳から2歳児までの小規模保育の利点でもあるアットホームな雰囲気の中でゆったりと保育が行われ、個々の発達に沿った保育が保護者から共感を呼んでおり、外国籍の子どもも分け隔てなく自然に友達の輪に溶け込めるようにし、会話も分かりやすい単語と短い文章で寄り添いながら支援しています。		
	<u>異年齢保育を自然に行い、子どもが主体的に遊べる環境作りに向け園内研修を行っています</u> ワンフロアを衝立て仕切って0歳から2歳児クラスが分けられている構造になっているため、少人数ながら子ども同士の関わりが多く、異年齢の保育が日常生活の中で自然な形で行われ、模倣から活動の発展につながっています。子どもの遊びの環境については、園内研修をみんなで話し合ったことが実践され、クラスごとの各コーナーには、子どもが興味や関心を持てるように年齢に応じた遊具や絵本、手作りの台所等がすぐに手に取れるように設置され、子どもが自身で遊びを選択して、じっくり遊び込めるような時間、空間、物の数が確保されています。		
<u>特別な配慮が必要な子どもについて、専門職と連携し家庭とも情報共有して支援しています</u> 子ども同士のトラブルについては、発達過程だからということで全てを終わらせるのではなく、子どもの気持ちを受け止める支援をし、保護者には入園の案内時に説明を行って、年度初めには、職員研修を行い保護者への対応・トラブルが発生した時の対応について話し合いを持っています。特別な配慮が必要な子どもには、外部研修で学び発達支援センターと連携を取りながら、保護者との連絡も密にして園と家庭との生活リズムや対応などに違いが生じないように支援しています。子どもへの声掛けのタイミング、落ち着ける場所の確保を検討しています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助	○非該当

		している																						
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当																					
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当																					
評価項目2の講評																								
<u>家庭と園が連続し安定するよう、登降園時には笑顔で挨拶し子どもの状況を共有しています</u> 家庭と園が連続し安定するように、朝の登園時には特に笑顔で挨拶を行い家庭での様子を聞き、家庭連絡帳で食事・睡眠・排泄・遊びを把握し、「心配なことがあったらお聞きします」というメッセージを送り気持ちよく過ごせるような話しかけをし、降園時も丁寧に伝えています。外国籍の保護者との情報共有は翻訳アプリを使用したり、簡単な英語で理解が得られるまで話しをしています。設立法人としても保育園のしおりや重要事項説明書の英語・中国語版を作成し外国籍の方の悩みや分からないこと等のサポートとして電話相談室を開設する予定です。																								
<u>子どもの発達を、細やかな「園長メッセージ」の便りにし保護者にお知らせしています</u> 食事・排泄等の基本的な生活習慣は、その年齢になったからではなく、やりたい時がやり時ととらえ一人ひとりの様子をみて家庭での様子も聞きながら連携を取ってトレーニングに移行しています。歯磨きやうがいも、虫歯のお話会や絵本を使って大切さを伝えてから、習慣が身につくように援助しています。子どもの発達過程について、保護者へは子どもの成長発達、子どもの心を豊かにするために、愛着形成、ママ・パパへの応援メッセージ等をテーマとして園長からお便りにしてお知らせし、保護者個人面談でも丁寧に伝え、関心を持ってもらえるようになりました。																								
<u>子ども一人ひとりの生活リズムや体調に応じ、休息やお昼寝をし健康維持に努めています</u> 集団生活の中で過ごす子ども達にとって、休息やお昼寝は健康維持や体力回復のための大事な位置づけとなっており、月齢に応じた睡眠時間と各家庭での過ごし方を参考にしながら、保護者との話し合いもしながら状況に応じて調節しています。職員がそばにいてスキンシップを取りながらお昼寝に誘ったり、午前や午後にお昼寝をとる子どもが静かに眠れるようにコーナーも設けられ、子ども一人ひとりの健康維持に努めています。																								
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（○○○○○○） <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td><td>○非該当</td></tr> </table> 評価項目3の講評 <u>散歩や戸外活動を積極的に取り入れ、自然を感じ五感を豊かにする保育を行なっています</u> 駅が近いので園庭はありませんが周辺に複数の公園があり、公園ごとの詳細なお散歩マップが作成され、目的に応じて公園を選び公園に行く前には保育士が事前に公園の状況を確認して出かけています。天気の良い日は、積極的に散歩に出かけ運動機能を伸ばし、季節の花々や紅葉で季節の移り変わりを感じ、虫を探しや木の実探し等で探索活動をし、年齢に応じて固定遊具やかけっこ、集団遊びを取り入れています。小規模保育のため0歳児から2歳児と一緒に散歩に出かけていますが、異年齢保育の中で社会性や協調性が育まれており小集団の利点が活かされています。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当																						
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当																						
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当																						
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当																						

	<u>絵本の読み聞かせや音楽・絵画活動を通し表現遊びを楽しみながら表現力を育てています</u> 乳幼児期の言葉の発達の支援として、絵本に親しみながら、朝の時間には子どもが読みたい本を読む等の読み聞かせを実施し、朝の会では行事の歌や月の歌を歌うことを楽しみ気持ちが豊かになるようにしています。手遊び歌や三つの和音を聞き分けて耳を澄ますことが意識できるような音楽活動も行なわれ、絵画活動では専門の講師による絵画指導を取り入れ自由画や線描画に挑戦する等、表現遊びを積極的に取り入れており、子どもたちも表現遊びを楽しんでいます。製作されたものは玄関に飾り保護者にも鑑賞してもらっています。														
	<u>子どもが主体的に興味関心を持てるように、課題を把握し保育の見直しを行なっています</u> 登園して来た子どもがすぐに「遊びたい」と思えるように、遊具や教材は子どもが手に取れるような場所に取りやすく置き、子どもの自主性、自発性を尊重し遊びを途中で止めない保育を行なっています。また子どもが主体的に興味や関心を持って保育園生活が送れるように、年間指導計画、月間指導計画、週案を作成し日々の保育を行っています。自らの保育実践と子どもの育ちを振り返り、次の保育に向けて改善を図り、保育の質を向上させるために自己評価を行ない、課題を把握し、全体的な計画や指導計画、その他の保育の計画を見直しと改善を図っています。														
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (○○○) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 70%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目 4 の講評 <u>行事のために行うのではなく、遊びから行事につなげるように保育を発展させています</u> 行事のねらいや目的、年齢別に興味や関心を持って園全体で話し合いを行い企画しています。0歳から2歳児の小規模保育のため、行事については行事そのものの為に行うのではなく、こいのぼりを製作しながらこいのぼり集会につなげたり、お芋掘りごっこでは保育士が芋とつるを新聞紙で作成して、お芋掘りごっこ遊びを楽しみ、その後には本物のお芋を見て、触り、おやつにして食べたりする等、遊びから行事につなげるように発展させています。 <u>さまざまな行事に参加することで、楽しみを満喫できるようにしています</u> 毎月のお誕生会や七夕まつり、お月見会、お正月遊び、豆まき会、ひなまつり、2歳児の遠足ではバスに乗りひまわり畑に行く等年間のさまざまな季節の行事を通して、四季の変化を感じ心豊かにし、日本の伝統文化やならわしを学べるようにしています。0歳から2歳児保育のため、運動会ごっこでは「一緒に楽しむ」ことを狙いにする等、行事に参加することで、楽しみを満喫できるようにしています。また行事は異年齢保育での活動も多いため、日常の保育に変化と潤いをもたらされています。 <u>行事のねらいや目的を保護者へ説明し、家庭でも話題にあがるように工夫しています</u> 年間行事予定を保護者にお知らせし、行事が近づくとその内容やねらいを説明して家庭でも話題にあがるように工夫しています。外国籍の子どもも在籍しているため、宗教について保護者への理解や説明、配慮をしています。毎月の行事の終了後には、写真を掲示し保護者に報告しアンケートを取り、次の行事に活かしています。子どもの姿をじっくり観察して頂く為の日常保育でも参加を呼びかけていますが、殆どの家庭が仕事をしている為参加が難しい状況となっているので、お休みを取らなくても参加できる方法を検討しています。今後の取り組みに期待します。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当													
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当													
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当													
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (○○) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 70%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当						
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当													

	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目 5 の講評			
<u>少人数のゆったりとした、安心できる環境の中で長時間保育を行っています</u> 朝夕の合同保育や延長保育で保育時間が長い子どもが安心して過ごせるように、少人数のゆったりとした雰囲気と環境の中での保育を行っています。0歳児で夕方寝の子どもがいるので子どもの人数等を考慮しながら保育を行っています。職員はシフト制になっているので、朝番から担任、担任から遅番への申し送りについてはこまめな対応をしなければならないと考えており、特に子どもの体調面で不安があった場合は、家庭への電話連絡をする対応が職員の共通認識として必要だと認識しています。			
<u>異年齢保育の機会が多く設けられ、居心地の良い時間であるよう取り組んでいます</u> 散歩等の戸外活動や、朝夕の合同保育、クラスがワンフロアを衝立で仕切って設定してある為、日常生活の中で自然に異年齢保育が行われる機会が多くあり、異年齢保育では遊びに集中しできるような環境とともに、少人数の家庭的な雰囲気の中で子どもが苦痛でなく居心地の良い時間であるように園全体で取り組んでおり、子ども達も楽しく過ごしています。			
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点 (○○○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている		○非該当
評価項目 6 の講評			
<u>給食担当者の意識・技術向上に向けて、法人の栄養士が月1回巡回・指導を行っています</u> 四季折々の行事には行事食を取り入れ、旬の野菜や果物、魚も取り入れ食べ物の持ち味をいかし季節感を感じられる献立を設置法人の栄養士が計画し、薄味の手作りの給食を提供しています。離乳食の調理は、子どもの食べ方を見ながら、舌ざわり、飲み込みやすさ、食べやすさを調整しています。残渣調査（食べ残しの調査）が実施されており、職員にも意見も聞いて結果を設置法人の園長会で取り上げたことにより、毎月1回各保育園に栄養士が巡回し指導することになり、保育園の給食担当者の意識と技術の向上につながってきています。			
<u>食物アレルギーや文化の違いに応じたの食事は、保護者と面談し細やかに対応しています</u> 宗教上や、食物アレルギーにより給食提供は保護者と面談しきめ細やかに対応しています。アレルギー対応マニュアルが整備されており、医師の診断書、指示書をもとに保護者と給食担当者、園長、担任を含めた面談を行い、献立のチェックから調理、献立提供にいたるまで確認をし、個別トレーによる配膳をし、誤食防止に努めています。職員全体で食物アレルギーの対応として、生活リズムや住環境の整備も大切と考えています。また、宗教上で食べられない物があつた場合も、アレルギー対応と同じく保護者と面談し、職員全体で除去物の確認を行っています。			
<u>ごっこ遊びや見立て遊びから、食への関心につなげて行く保育を行っています</u> 駅の近くで園庭がない為、植物の栽培ができませんが、2歳児は3月にイチゴ狩りバス遠足が行われており、イチゴの色			

	や香り、触感、味覚等五感を使って楽しみながら食育に取り組んでいます。乳児のクッキング等については、衛生面やスペース面から考えても取り組むのは難しいと考えていますが、芋ほりごっこや十五夜さんのお団子を小麦粉粘土で見立て遊びを行う等工夫しています。今後、乳児でもできそうな遊びを工夫しながら、乳児期の食育を推進したいと考えており、これからの取り組みに期待します。		
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価項目 7 の講評			
<u>うがい、手洗い、歯磨きを通して子どもの健康が維持できるように支援しています</u> 病気や怪我から体を守る取り組みとして、生活習慣を身に付けていく1歳児から外から帰ったら泡石鹸で手を洗ったり、歯磨きも年齢に応じて指導を行っています。身体測定は、嘱託医が来園して子どもとふれあい子どもに安心を与えながら実施されています。嘱託医が色々な相談にも乗り、嘱託医と保育園の連携が取れています。0歳児の健康診断は月1回が望ましいのですが、設立法人としてできていないで、区の情報や保護者とかかりつけ医との情報共有化ができればと考えていますが、個人情報の観点から難しいと考えています。今後の取り組みに期待します。			
<u>感染症の処置・安全管理を園内研修で学び、保護者に呼びかけ事前予防に努めています</u> 園での投薬は基本的に行っていませんが、虫刺されなどで軟膏を塗布する必要がある場合は、保護者に事前に確認を取って行っています。散歩時の虫除けスプレーは保育園で手作りスプレーを作って使用しており、シャツ等で紫外線対策も行っています。園内研修では「感染症に対する処置」、「事故（安全管理）」について学びあっています。感染症の発生時には玄関に病名、発症状況、予防について掲示し園便りでも情報提供を行い感染拡大防止に努めてもらうよう保護者に呼びかけています。			
<u>SIDS予防として乳幼児呼吸モニターを使用して呼吸・体動確認を確認しています</u> 安全管理マニュアル、事故防止のための取り組みマニュアルが整備され、SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防に向け0歳児は乳幼児呼吸モニターを使用しています。0歳児は5分毎、1歳2歳児は10分毎に呼吸状態の確認を行い睡眠チェック表に確認事項を記入し、うつ伏せ寝がないように体動を確認しています。また、病児保育を行っているわけではありませんが、保護者支援も大事な柱と考えているので、状況判断しながら保育を受け入れることで、保護者自身が子どもの健康を大事に考えるようになっていきます。			
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点 (○○○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目 8 の講評			
<u>子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援するよう努めています</u> 保護者には子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っています。入園時の提出書類や保護者との個別面談時			

で、就労状況や保育利用時間、また家庭状況を把握しており、当日残業で急な保育時間の変更などがあってもできる限り柔軟に対応し、保護者が安心して就労できるよう配慮しています。日頃から保護者が話しやすい雰囲気作りを心がけ、日常的にも家庭の状況に配慮し話を聞いたり、時には相談にのったりして、保護者との信頼関係の構築に努め、個々の事情に配慮し支援するよう努めています。

子どもたちの保育を通じて園の思いなど、園長メッセージを定期的に発信しています

子どもたちの保育を通じて園の思いなど、園長メッセージを作成し、定期的に配付しています。今年度は1~2か月に一度、子育てを応援するためさまざまなテーマ（園が大切にしている愛着形成、子どもの成長発達、ママ・パパへの応援メッセージ、生活リズムを整え元気な子ども、子どもの遊び、絵本の読み聞かせなど）で保護者へ発信しています。今回の利用者調査では全体的な満足度に加え、職員との信頼関係でも非常に高い評価を得ており、職員の日々の努力が反映されています。今後も、保護者との信頼関係を深めるこのような取り組みに期待します。

さらに保護者同士の交流ができる機会の提供に向けた取り組みが期待されます

夏祭りやハロウィンなど園の行事・イベントにおいて、小規模保育所かつ職員数が限られた状況等もあり、保護者に対して自由参加（希望があれば参加可能）で行われています。保護者同士の交流の大切さについて園だより（10月）で発信しているものの、行事はほぼ自由参加のため保護者同士が交流できる場は、登降園等に限られています。今回の利用者調査で、「保護者との交流の場がほしい」、「保護者が参加できる行事はほしい」など声があり、登降園時間が異なる保護者同士の交流ができる機会の提供に向けた取り組みが期待されます。

9

評価項目 9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目 9 の講評

毎日散歩に出かけて地域に親しみ、様々な体験や交流ができるようにしている

園は園庭がないため、毎日0~2歳児クラスみんなでいろいろな公園に出かけ遊んでいます。天気の良い日は毎日散歩に出かけて、地域に親しみ、公園で出会う親子や他園の子どもたちと一緒に遊び、交流を図っています。時には、1~2歳児の子どもたちと図書館に行き、絵本を借りて日常の保育の中で活用しています。また、お花植え会、かりんまつり、近隣の商店街で行われる光の祭典など地域の行事に参加したり、散歩の途中にある商店の方とあいさつするなど、子どもたちは地域の方々に温かく見守ってもらっています。

地域の行事へ参加していますが、さらに地域交流を進められることが期待されます

近隣の商店街等で行われる地域の行事に参加し、子どもが地域の人と交流できる機会はあるものの小規模保育所かつ職員数が限られた状況等もあり、園の行事に地域の人を招待するなど行っていません。園では、近隣の子育て世代の保護者への啓発事業として園長メッセージを配布するなどしながら地域交流を図っていきたいと考えています。今後、様々な活動を積み重ね地域社会との交流を進められることが期待されます。地域の中で育つ子どもたちの様子を見てもらったり、子どもたちが地域の大人と交流できる機会を持てるような行事への取り組みも期待します。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-2-2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている
タイトル①	苦情解決制度や虐待予防管理などを制定し、利用者へお知らせしています	
内容①	保護者には苦情解決制度を利用できることを重要事項説明書に定め説明を行い、今年度の新たな取り組みとして、職員には「人権教育プログラム」を策定し自ら学ぶ力の育成として「カー杯とりくもう、何でもやってみよう」をキーワードにし、「乳幼児の子どもの人権を守り育む」などの研修を行っています。子どもや保護者の気持ちを傷つけるような職員の言動・保育放棄・虐待・無視・差別など禁止する職員行動規程等を定め、自己・他者・生命への尊厳、言う力と聞く力を持つことの課題に取り組む事で人権尊重の心を育てる教育を今年度から行っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊に展開されるよう工夫している
タイトル②	気の良い日は毎日散歩に出かけ、健康増進に向け積極的な取り組みを行っています	
内容②	天気の良い日は0～2歳児クラスみんなで毎日いろいろな公園に出かけ遊んでいます。周囲には様々な特徴をもった公園が点在しており、その時々により目的に応じて行く場所を変えて、様々な特徴のある遊具のある公園での遊び以外に遊具のない広場だけの公園にも出かけ鬼ごっこやかっこなど思いつき走り回ったりしています。近隣の公園の特徴を一つひとつ記載したお散歩マップが写真付でわかりやすくファイリングされ、園の玄関に置かれています。健康増進に向け積極的に取り組み、元気に遊び、自然との関わりを深め豊かな感性を培っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもたちの保育を通じた園の思いなどをまとめた園長メッセージの発信等、保護者との信頼関係構築に努め、保護者支援に取り組んでいます
	内容	保護者との信頼関係構築に努め保護者支援に積極的に取り組んでいます。日頃から保護者との会話を大切に、保護者の声には常に耳を傾け、時には育児相談にものっています。また子どもたちの保育を通じて園の思いなど園長メッセージを作成し、子育てを応援するため様々なテーマ（園が大切にしている愛着形成、ママパパ応援メッセージなど）で保護者へ定期的に発信しています。こうした取り組みが保護者の安心感へとつながり、今回の利用者調査では、全体的な満足度に加え、職員との信頼関係でも高い評価を得ており職員の日々の努力が反映されています。
2	タイトル	自己評価結果を保育実践の改善のために行い、積極的に保護者へ公開しています
	内容	職員の内外研修を行い、その研修受講報告書を提出し、自己の学習や日々の保育の振り返りをして自己評価をしています。子どもたちと生活を共にする中で、育ちをしっかりとらえ、一人ひとりの援助が適切であったかなど、保育改善のためにその自己評価結果を保護者へも公開しています。評価の観点を設定し、評価基準として達成したか、不足した部分があるかなど分析し、次年度にむけての方向性を示しています。そしてお互いに評価しあい学びあいを継続していく中で自らの保育を謙虚に振り返る姿勢が見られる良い取り組みが行われています。
3	タイトル	保育サービスに必要な知識や技能の向上に向け、園長は職員と面談を行い、個人別年間研修計画書を作成し、職員はさまざまな研修で学んでいます
	内容	保育に携わる職員一人ひとりが保育実践と研修を通して保育サービスに必要な知識や技能を高められるように、園長は職員と面談を行いながら個人別年間研修計画書を作成し、職員はさまざまな研修に参加し学んでいます。足立区や社会福祉協議会主催の研修、法人においても研修会が開催され、職員全体で、平成29年度は外部研修35回、内部研修は16回参加しました。保育者同士が保育の質を高めあう組織にするために、ちょっとした時間、お茶をしながら保育について語れるような雰囲気を作り、信頼関係を築き楽しく学びあえる環境作りにも努めています。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの安全面を考慮し、さらに取り組まれることを期待します
	内容	リスクアセスメントを実施しリスクの洗い出しから対策までの仕組みは構築されており、各種マニュアルも整備されています。今回の利用者アンケートにおいて園の玄関の施錠管理について防犯面で不安視する声がありました。不審者対策も含め、子どもの安全面を考慮しさらに取り組まれることを期待します。また夏のプールについて、公道に面した場所に設置しつつたてを使用して行っています。園の設置構造上やむを得ないと思われそうですが、今一度子どもの安全面に配慮し取り組まれることを期待します。
2	タイトル	子どもがさまざまな地域活動に参加する機会や保育園から子育て世代への啓発活動を進める等、地域社会との交流を深める活動に期待します
	内容	子ども達が近隣の商店街等で行われる地域の行事に参加し、地域の人と交流できる機会がありますが小規模保育所かつ職員数が限られた状況等もあり、園の行事に地域の人を招待する等行っていない。園では、近隣の子育て世代の保護者への啓発事業として園長メッセージを配布する等して地域交流を図っていきたいと考えており、また地域の中で育つ子どもたちの様子を見てもらったり、子どもたちが地域の大人と交流できる機会を持てるような行事を持ちたいと考えています。今後、様々な活動を積み重ねながら地域社会との交流を深めていかれることを期待します。
3	タイトル	保護者同士の交流ができる機会の提供に向けたさらなる取り組みを期待します
	内容	夏祭りやハロウィンなど園の行事において、小規模保育所かつ職員数が限られた状況等もあり、保護者に対して自由参加（希望があれば参加可能）で行われています。保護者同士の交流の大切さについて園だよりで発信しているものの、園の行事はほぼ自由参加のため保護者同士が交流できる場は登降園等に限られています。今回の利用者調査で「保護者との交流の場がほしい」「保護者が参加できる行事はほしい」など声があり、登降園時間が異なる保護者同士の交流ができる機会の提供に向けた取り組みについて、できるところから始めることが期待されます。